

6月 ちとせだより

幼保連携型認定こども園
神戸YMCAちとせ幼稚園

ゴールデンウィーク明けの5月8日より、新型コロナウイルス感染症は感染症法上の位置付けが5類感染症に移行されました。日に日に気温も上昇し、子どもたちだけでなく保護者の方や教諭など大人にとっても、コロナ禍においては当たり前のマスク姿から開放され、ありのままの素顔を子どもたちに見せられるようになってきました。本来では当たり前のことなのですが、そんな当たり前が戻ってきたことを本当に嬉しく感じております。

保護者が主体となって進めていただく親子学級においてもコロナ禍以前の時のように、たくさんの協力の中で、今年度も様々な催しを計画していただきました。ありがとうございます。ご興味ある方は、ぜひ奮ってご参加いただければ幸いに思っております。

先日、親子学級の開講式にて、「神戸YMCAちとせ幼稚園で大切にしていること」と題して講話させていただきました。その中で、子どもたちには「根拠のない自信」を持って欲しいとお伝えしました。「根拠のない自信」とは・・・なかなかわかりにくい部分もありますが、逆に「根拠のある自信」の方がわかりやすいかもしれません。根拠があるというのは、目に見えた成績や実績、比較をして優位であるように、人より点数が良い、人より上手にできる、人より優れているということが目に見えてわかるということです。日本社会においては、これら根拠のある点で人の評価がされがちです。人より優れていることで、人から認められ、そして自信につながるということです。もちろん、努力した結果が目に見える形で成績に表れることは大事なことです。決して間違いではありません。しかし、幼児期から目に見えた評価を求められて育つと、常にごんばっていなければならず、人より劣ってしまうことは悪いこと。もっと言えば価値のない人間であるということにつながる恐れもあります。積み上げてきた自信が一気に崩れ落ちてしまう恐れもあるのです。

人間は長い人生を生きていく上で、常に成功し続けられることはありません。少なからず失敗したり、人と比べて劣ってしまったり、悔しい思いをすることも当然あります。そんな時にどう自分自身を大切に、前を向いて歩いて行けるかは、「根拠のない自信」が必要となるのです。根拠がないというのは、人と比べる必要はありません。人より優れている必要もありません。今、ありのままの自分で良いのだという自信です。この自信は、努力やがんばりで身につくものではありません。自分自身が考え、行動して、得た結果がどんなものであっても尊重され、認められる。そんな積み重ねが、1人1人の心の中に「根拠のない自信」として育まれていくのだと思っています。

幼稚園では子どもたちも生活に慣れ始め、少しずつ周りも見えるようになってきました。心も身体も動き出す時期です。そんな子どもたちの動き出しは、大人の目から見るとつついあれこれ言ってしまうような場面も多くありますが、そんな動き出しを見守り、尊重し、認めていく6月を過ごしていきたいと思っております。

【年主題】

『ともにつむぎだす』～希望の中で～

【年主題聖句】

キリストはおいでになり、遠く離れているあなたがたにも、
また、近くにいる人々にも、平和の福音を告げ知らせられました。
(エフェソ信徒への手紙2章17節)

6月主題 「動き出す」

聖句 「主はわたしたちを造られた」 (詩編100編3節)